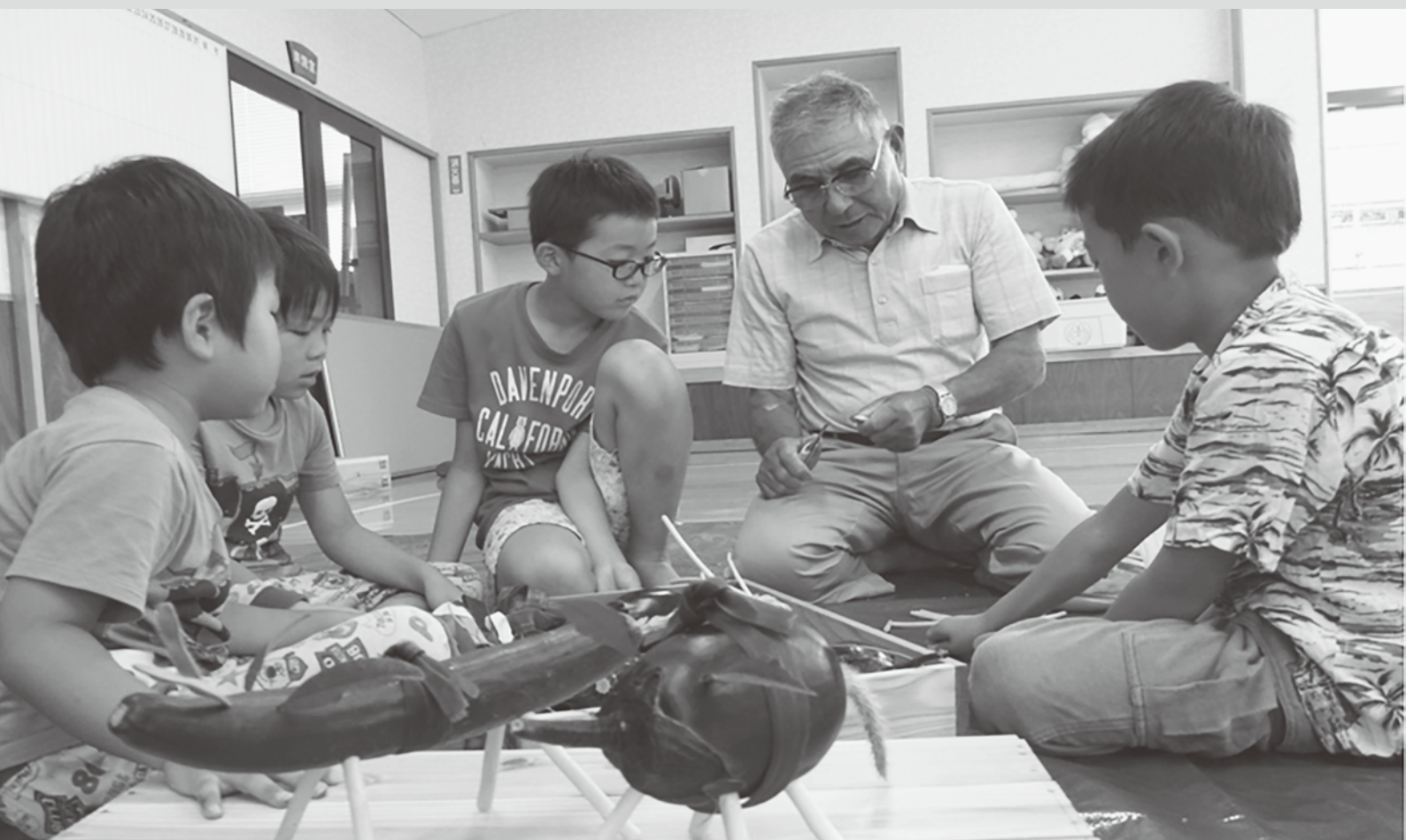


もろこし

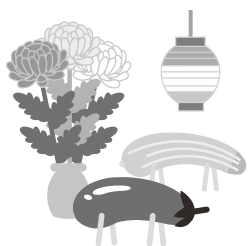
No.30



精霊様の乗り物づくり

7月27日に櫛引地域で開催された「こしやってマルシェ」では、松根地区の老人クラブのみなさんを講師に迎え、子どもたちが精霊様の乗り物づくりを行いました。

田畑を耕してきた祖先と収穫に感謝する日本の古来からの大切な行事として、ご先祖様が帰ってくるお盆にはごちそうを作り、きゅうりの馬となすの牛でお迎えしてきました。



鶴岡市農業者の願いを届けに 榎本市長へ要望書提出

建議書・要望書は、農業者や集落の声を行政の施策に反映するため、市長はじめ農業関係機関等に対して提出しているものです。

農業者の公的代表機関として、農業者や地域の農業の立場に立って活動していくことは極めて重要な役割です。

内容については、鶴岡市農業委員会定例総会において審議可決されたものです。

6月2日、三浦伸一会長はじめ委員5人で榎本政規市長を訪れ、次のとおり市農業施策に関する「要望書」を提出しました。

放任樹解消に向けた 支援を求める要望書

・本市における宅地内も含めた放任樹の現状を把握すること。

・放任樹の適正管理の指導及び伐採、抜根処理に要する経費を助成すること。

農業用施設への再生 可能エネルギーの導入 促進に関する要望書

・本市に豊富にある地域資源の有効活用と持続可能な農業経営を行うため、再生可能エネルギーの農業用施設への導入を促進すること。

・再生可能エネルギーに関し、県や市の支援制度などを啓蒙・普及するとともに、制度の拡充に努め地域農業の安定と活性化を図ること。

専業農家における保育 施設利用に関する要望書

・保育園の入所にあたっては、専業農家の就労実態を勘案し選考すること。

市長からは、「市の各部署と連携を図り、何らかの対策を考えていきたい」との回答がありました。終了後は、今後の農業委員会の組織や制度の改革について熱心に意見交換が行われました。

なお、農林水産大臣には、「中山間地域等の直接支払制度拡充に関する建議書」と「農業者年金の政策支援対象者の拡大を求める要望書」を提出しています。



要望書を提出する5役

次世代に大切な農地を残すために 農地パトロールを行いました

農業委員会では8月1日に管内の農地パトロールを行いました。

毎年実施するこのパトロールでは、遊休農地の実態把握と発生防止、農地の違反転用がないか、また申請どおり転用が行われているかなどを確認しています。

今年は、5年もの間、遊休農地となっていた水田を、地元の農業者の協力を得て解消した農地や、サル被害が甚大で深刻な問題となっている地域で、電気柵を設置するなどの先駆的な取り組みをしている農地、また、遊休農地を利用して市民農園を開設した農地などを現地確認しました。

一度遊休農地になると、元の農地に戻すことは大変困難です。また、荒れ

た農地は鳥獣害の発生や、不法投棄の温床化、環境の悪化にもつながり、周辺の住民へ多大な迷惑をかけることとなります。

農業委員会では、所有者、地域、行政が一丸となって取り組むことが大切と考え、今後も違法な開発や利用がされないよう、農地パトロールを続けていきます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

